

実質化された人・農地プラン

〔注：本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。〕

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
宇部市	小野地区(瀬戸、中宇内、上宇内、下宇内、来見、岩川、上小野、平原、東阿武瀬、阿武瀬、西下小野、下小野、両川、美保、上楡小野、一の坂、如意寺、襟原、臼麻、藤河内(茶園・タバコ農地))	令和4年3月30日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	273.19ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	195.13ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	114.04ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	60.56ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	6.65ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.1ha
(備考)	

2 対象地区の課題

地区の人口減少同様に農業者の減少しており高齢化はすすんでおり、新規就農者や法人化含めた集積は水利関係含めて、集落での集約への受け入れ体制が不十分となっている。特に新規担い手の受け入れはなく、地元集落内での引き受けが主となっていることも多い。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落内での農地利用は、中心経営体である担い手が担っていくほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れについて、水利関係含めた地元への理解を周知しながら促進することにより対応していく。

規模拡大を意識した集約可能な農地と農地保全に近い小規模農地との区別を意識した集約化を検討するとともに、小野地区全体を意識した中心経営体等への集約の方向性を推進していくことにより対応していく。